

令和7年度（2025）世田谷区立郷土資料館 行事予定

令和8年1月1日現在

【講座】事前申し込みが必要です

講 座 名	開 催 日 程	募集開始予定日
【終了】 古文書講座（入門編）	6月1日、8日、15日、22日 毎週日曜日（全4回）	5月1日（木）
	世田谷に関する古文書をテキストとして、江戸時代の「くずし字」を解説する基礎を学びます。古文書を全く読んだことがない、あるいはほとんど読んだことがない初心者の方が対象です。	
【終了】美術講座①「ミュージアムの魅力～家族でミュージアムを楽しむ」	11月30日（日）	11月1日（土）
	（講師：藤田百合・女子美術大学准教授）家族でミュージアムを楽しむ方法について、美術のワークショップなど参加体験型イベントの実例を紹介し、その魅力や成果について講じます。学校教育ではなかなか得られない豊かな情操を育むミュージアム教育の一端を知っていただくという、保護者必聴の講座です。	
美術講座②「遊びながら楽しく学ぶ作品鑑賞」	2月13日（金）	令和8年1月1日（祝）
	（講師：藤田百合・女子美術大学准教授）講義だけでなく、グループワークも交え、実際の教材も活用しながら、家族で美術作品を見る力、考える力をいかに高めていくかを考える講座です。作品について発見する喜びと「わからないこと」を楽しむ方法、家族が自宅で作品を楽しむ方法などを、経験豊富な講師が楽しく解説します。	
【終了】特別展関連講座「大東京の水事情—100年前の世田谷を中心に—」	12月7日（日）	11月1日（土）
	（講師：松本洋幸・九州大学教授）関東大震災後の東京郊外では都市化が進み、1930年代には現在の23区の原型が形成されていきます。この過程で、近郊の地域には多くの水道が誕生し、世田谷地域では日本水道株式会社という民間水道会社が給水を開始します。その一方、人々は井戸水を併用しながら必要な生活用水を調達していました。この講座では、100年前の複合的な水事情を、当時の資料で振り返ります。	
古文書講座（中級編）	令和8年2月8・15・22日、3月1日 毎週日曜日（全4回）	令和8年1月1日（祝）
	古文書読解能力のレベルアップをめざす講座です。ある程度古文書を読んだ経験のある方が対象です。事前に自宅で予習をしていただき、講座はその答え合わせをする形式で進めていきます。	
美術史講座「江戸の仏像入門」	令和8年2月27日、3月6・13日 毎週金曜日（全3回）	令和8年2月1日（日）
	世田谷区には江戸時代に造られた仏像が数多く伝わっていて、時代を代表する貴重な仏像も存在します。そこで、この時代の仏像の基本や見るポイントを3回にわたって講じます。	
民俗学講座	令和8年3月11・18日 毎週水曜日（全2回）	令和8年2月1日（日）
	講師：新倉貴仁（成城大学教授）、松浦瑛士（当館学芸員） 昨年度開催した「成城100年の歩み」展で使用した資料に新資料を追加し、成城学園移転前の喜多見台から開発までの歴史を紹介します。また、多くの文化人が居住した成城ではどのような文化が成立し、育まれてきたのか、社会学の視点から考察します。	

【野外歴史教室】事前申し込みが必要です

講 座 名	開 催 日 程	募集開始予定日
【終了】桜丘と石造物を巡る	10月17日（金）	9月15日（月）
	桜丘地区を歩きながら、その歴史と点在する石造物について解説します。	
【終了】吉良氏ゆかりの地めぐり—目黒地域—	11月12日（水）	10月1日（水）
	目黒区内には、中世の世田谷領主・吉良氏ゆかりの寺社や旧跡地が点在していて、吉良領主時代に遡るお堂や仏像も見ることができます。こうした地を巡り、中世の世田谷を考えます（見学予定＝円融寺、碑文谷八幡宮、旧吉良家臣栗山家古民家、東光寺）。全行程徒歩約3キロ。	

【体験教室】事前申し込みが必要です

講 座 名	開 催 日 程	募集開始予定日
【終了】夏休みワークショップ（1）「石器を触ろう！」	8月8日（金）	7月1日（火）
	本物の石器を触って、どんな石が石器には向いているのか観察してみましょう。	
【終了】夏休みワークショップ（2）「発掘する形でうちわを彩ろう！」	8月9日（土）	7月1日（火）
	郷土資料館周辺の凸凹を発見してもうを写し取り、顔彩绘の具で色づけしたものを貼り付けてオリジナルのうちわを完成させましょう！	

【特別展・季節展】

展 示 会 名	開 催 日 程
【終了】 季節展「ホタルとさぎ草伝説」	6月28日（土）～7月27日（日） 毎年7月に代官屋敷敷地内で開催される「せたがやホタル祭りとサギ草市」にあわせて、映画「さぎ草物語」で使用された江口準次氏の原画を展示し、世田谷のさぎ草伝説を紹介します。また、ホタルの生態模型によりホタルの一生を紹介します。
【終了】 特別展「世田谷の用水」	10月25日（土）～12月21日（日） かつて区内には、六郷用水や品川用水をはじめ、多くの用水が流れていました。現在その多くは、役目を終え、蓋がされたり地下に埋められたりして、姿を消しました。この展示では、絵図や史料から、かつて区内を流れていた用水を紹介します。
季節展「ボロ市の歴史」	令和8年1月4日（日）～1月25日（日） 毎年12月と1月の15・16日に、ボロ市通りで「世田谷のボロ市」が開催されます。天正6年(1578)の北条氏政の「楽市掟書」により始まったとされる「世田谷のボロ市」について関連資料を展示し、その歴史を紹介します。 展示解説会：ボロ市開催日に実施予定

【ミニ展示・速報展】

展 示 会 名	開 催 日 程
【終了】ミニ展示 「世田谷ゆかりの近世画人IV 菊池容斎」	4月26日（土）～6月22日（日） 江戸時代後期から明治時代初めに活躍した菊池容斎は、歴史画の大家として知られ、世田谷ともゆかりのある日本画家です。このシリーズ第4弾として、今回は、彼の作品と関連資料をご鑑賞いただきます。
【終了】 2025世田谷区遺跡発掘調査速報 展—最新の調査成果から—	8月2日（土）～10月19日（日） 釣鐘池北遺跡や上神明遺跡など、令和6年度におこなった遺跡の発掘・整理調査成果をパネルと出土品で報告します。
ミニ展示 「昔のくらし」	令和8年1月4日（日）～3月29日（日） まだまだ電気やガスが家庭に行き渡っていなかった100年ほど前の世田谷の暮らしを、今では使うことの少なくなった道具を通して紹介します。家庭で使っていた道具を中心に展示し、クイズ形式で解説します。

【コーナー展示】

展 示 会 名	開 催 日 程
【終了】 〈戦後80年 昭和100年〉昭和の 世田谷と小学校	4月5日（土）～7月27日（日） 本年は昭和100年にあたります。今回は春の入学シーズンにちなみ、ランドセルや弁当箱など学校にまつわる道具や区内小学校の校章などを紹介し、写真パネルなども交えて、昭和の歴史を振り返ります。
【終了】 〈戦後80年 昭和100年〉戦時下 のくらし	8月2日（土）～9月21日（日） 本年8月15日は終戦80年の日となります。その節目にあたり、軍隊の除隊挨拶に配った盃や学徒動員先で身につけた腕章、隣組回報や疎開写真など、収蔵資料の中から戦時下の人々のくらしを垣間見ることとします。
【終了】 世田谷線開通100周年	9月27日（土）～10月12日（日） 2025年5月1日に東急世田谷線は開通100周年を迎えました。写真パネルなどから世田谷線の歴史を振り返ります。
〈考古〉 縄文時代の変った「かたち」	令和8年1月31日（土）～3月29日（日） 区内ではまだ2点しか見つかっていない三角柱状土製品（さんかくちゅうじょうどせいひん）など、縄文時代の土製品を紹介します。

【地域行事等】

行 事 名	開 催 日 程
【終了】 せたがやホタル祭りとサギ草市	7月19日（土）・20日（日）
世田谷のボロ市	12月15日（月）・16日（火） 1月15日（木）・16日（金）
文化財防火デー代官屋敷消防訓練	令和8年1月26日（月）

- ・講座名、日程、募集期間等は変更、または中止になる場合があります。
- ・各講座、教室の参加対象者は、世田谷区内在住・在勤・在学の方で講座に全回出席可能な方です。
- ・募集は「区のおしらせ」及び「区ホームページ」「世田谷デジタルミュージアム」でご案内いたします。

世田谷区立郷土資料館

世田谷区世田谷1-29-18
電話 03-3429-4237
FAX 03-3429-4925